



# “Pure CS” Project Photo Letter

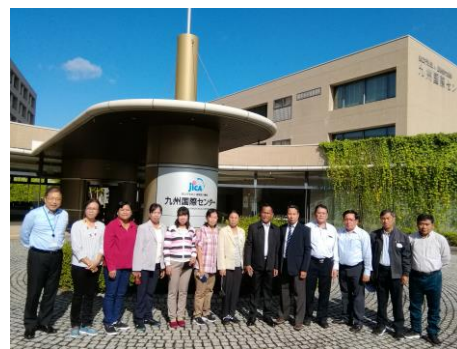


No. 14, September 2019

2019/9/24 (火)～9/30 (日)、当プロジェクトが企画しました、第1回本邦研修「イネ種子生産・品質管理技術」が行われました。この研修では、当プロジェクトのカウンターパート機関であるDOAの種子担当者、プロジェクト対象地域内のDOA事務所長、DOA職員（農業普及員）を対象に、主に福岡県内の種子生産システムに関わる機関・団体を訪問し講師による講義や関連施設の視察を通じ、イネ種子の生産及び品質管理技術、日本の官・民組織の役割分担と連携について学習しました。今回はその模様を中心にをご紹介します。



**BSモニタリング** (9/4 (水) イエジンの農業研究局 (DAR) でBS (育種家種子) の品質管理モニタリングを行いました。出穂前のBS圃場は異株の除去と除草が徹底され、管理が行き届いていました。モニタリング後に評価会を行い、出穂始期からの異株抜取りの徹底を確認しました。次回は10月中旬の出穂期に行う予定です。)



**記念撮影** (9/24 (火) 研修初日、台風一過の晴天の下、前日から宿泊したJICA九州にて研修参加者12名と吉田専門家 (左) で記念撮影。)



**オリエンテーション** (9/24 (火) JICA九州にてブリーフィングとオリエンテーションに参加。研修担当者から研修参加にあたっての留意点などを聞きました。)



**福岡県の稲作農業** (9/24 (火) 福岡県庁では、農林水産部、県米麦品質改善協会職員の方から、県の種子政策・制度、審査や品質管理等について学習しました。)



**イネ種子の生産・管理** (9/25 (水) 福岡県農林総合試験場では、福岡県の品種育成および原原種、原種種子生産について学習しました。)



**塩水選種法発祥の記念碑にて** (9/25 (水) プロジェクトの現地国内研修でも実践している塩水選種法の記念碑の前で記念撮影をしました。)



**BS増殖における系統法** (9/25 (水) 農研機構 九州沖縄農業研究センターを訪問し系統法による育種家種子 (BS) 増殖等について学習しました。)



**九州沖縄農業研究センターの試験圃場見学** (9/25 (水) BS増殖等の講義の後、センター内の試験圃場を見学しました。)



**普及指導センター** (9/26 (木) 久留米普及指導センターでは、担当者から久留米における種子生産、圃場審査、生産物審査などについて学習しました。)



**農協の機能、役割** (9/26 (木) JAみいででは、地域における農協 (JA) の機能と役割について学習しました。研修参加者たちからは農協について様々な質問が出されました。)



**久留米市内の採種農家視察** (9/26 (木) 久留米市内の採種農家の採種圃場を訪問し、採種農家から種子生産についての説明を受けました。)



**福岡県の稲作の歴史** (9/26 (木) 福岡県農業普及員OBの元JICA専門家より、福岡県の稲作の歴史、優良種子の生産について学習しました。)



**JA全農 ふくれん 米麦種子センター** (9/27 (金) 米麦種子センターでは、同センター長の説明を受けながら施設、設備を見学しました。)



**八女の稲作、種子生産** (9/27 (金) 八女普及指導センター担当者から八女の稲作、種子生産について、稲作農家から優良種子による稲作について学習しました。)



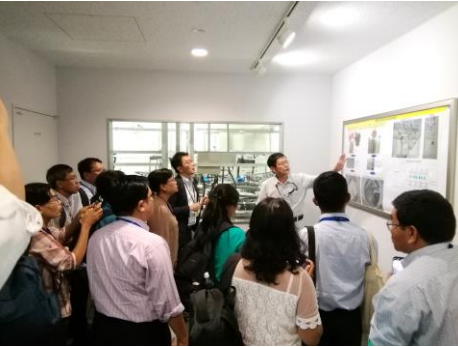
**八女市内の採種農家視察** (9/27 (金) 八女市内の採種農家の採種圃場を訪問し採種農家から種子生産について説明を受けました。)



**鎌倉大仏参拝** (9/28 (土) 福岡から東京への移動の途中、日本の中世、仏教文化に触れる活動として鎌倉に立ち寄り、鎌倉大仏を参拝しました。)



**振り返り** (9/29 (日) 午前、研修に同行したプロジェクト専門家がファシリテーターとなり、福岡県での研修の振り返りと研修参加報告の内容についての話し合いを行いました。研修参加者からは、稲作、イネ種子生産・品質管理におけるミャンマーと日本 (福岡県) それぞれの取り組みについて様々な意見が出されました。)



**遺伝資源の保存と活用** (9/30 (月) 農研機構 遺伝資源センターを訪問し、機構の研究活動、成果、今後の展望およびミャンマーで収集した遺伝資源の保存、活用等について説明を受けました。)



**日本の種苗政策、制度** (9/30 (月) 農林水産省政策統括官を表敬訪問し、続いて穀物の担当官より日本のイネなど主要農作物に関する政策や制度について学習しました。)



**研修評価会** (9/30 (月) JICA本部にて研修の評価会を行い、評価会終了後、農村開発部鈴木次長より研修参加者へ修了証が手渡されました。)